



# 国労せんだい

## こくろうせんだい 速報版

No. 2644  
2013年3月9日  
発責 大沼 元  
編責 武田 昌仙



講演の様子

### 労働講座 最大の敵は風化

講座では「福島原発における被曝労働の実態」と題して、海渡雄一弁護士（国労弁護士団）が講演を行った。

海渡氏は大学時代に原子力を含む公害問題を扱うサークルに所属し、そこで現在の奥様である福島みずほ氏と出会い、同時に弁護士になる決意をしたことを紹介しながら、

講演では「福島原発における被曝労働の実態」と題して、海渡雄一弁護士（国労弁護士団）が講演を行った。

講演の最後に海渡氏は、「私たちの最大の敵は忘れず被害者を支え続け、

子力を含む公害問題を扱うサークルに所属し、そこで現在の奥様である福島みずほ氏と出会い、同時に弁護士になる決意をしたことを紹介しながら、



デモ行進で氣勢を上げる参加者

3月5日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され、390人の国労東北の仲間が結集した。

仙台市民会館での集会は二部構成で行われ、第一部として、財団法人国鉄労働会館主催の東北労働講座が行われた（左記）。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表し、東日本本部高野委員長と東北協議会を代表し齋藤議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢と会社の動向、国労の取組み、13春闘勝利

と諸課題の前進、そして闘いを通じて新しい仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おうと訴えた。



齋藤議長の音頭で団結頑張ろう！

## 約400人の組合員が結集

### 国労東北 総決起集会開催

## 市民・会社に応じる

国労東北総決起集会の前段には、仙台支社前と仙台駅東口において早朝チラシ配布行動が取り組まれた。「賃金



引き上げ」「安全運行に逆行する業務委託化反対」「バス会社の要員不足と安全問題」「ノンアシベスト化」「反原発」「改憲反対」など、多くの課題と要求が書き込まれており、広く市民にアピールを行った。

また来賓として、社民党宮城県連合菅野代表、日本共産党若者雇用相談室岩淵室長、宮城県平和労組会議菅原事務局次長からそれぞれあいさつを受け、東北交運労協から

は連帯のメッセージを頂いた。集会は、盛岡地本小林副委員長、秋田地本後藤書記長、仙台地本歌川副委員長及び東北貨物協議会大越議長からそれぞれ力強い決意表明を受け、東北協議会渡辺副議長の閉会のあいさつ後、齋藤議長の団結頑張ろうで締められた。

集会後に参加者は4ブロックに分かれ仙台市内をデモ行進。賃上げを始めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げた。



仙台市内になびく赤旗